

事務事業名	木次町有線放送設備撤去工事補助金	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課	
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり<<定住環境>>	所属G	情報政策G	課長名	三原修三
	施策名	(06)地域情報化の推進	担当者名	伊藤 豊	電話番号	0854-40-1015 (内線) 3521
	目的・対象	対 象 市民 意 図 高度情報通信環境を利活用する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0 1 1 0 0 1	事業名	情報通信総務管理事業
	目的・対象	対 象 地域情報を享受していない市民 意 図 情報通信(技術・手段)を確保する。	項目	中事業 0 5 5 5 5 1	中事業名	木次町有線放送設備撤去工事補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
市が音声告知放送を市内一元する告知放送整備計画を決定したことに伴い、JA雲南は有線放送事業から撤退することとなった。これに伴い、JA雲南が実施する有線放送設備撤去工事に係る費用について補助を行った。
解体工事費59,850千円 (うち補助対象54,212千円) 補助率1/3以内 補助金18,000千円

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動)	25年度計画(25年度に計画する主な活動)			
		JA雲南が実施する有線放送設備撤去工事に係る費用に対する補助。	無し			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 補助金交付申請数	件			1	
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	木次町有線放送設備	ア ケーブル撤去	m			134,060	
		イ 電柱撤去	本			2,560	
		ウ 人口(木次町)	人			9,184	
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
木次町有線放送設備を撤去する。	ア ケーブル撤去	m			134,060.0		
	イ 電柱撤去	本			2,560		
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
木次町有線放送設備撤去工事補助金18,000千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円			18,000
	事業費計(A)	千円			18,000	
	人件費	正規職員従事人数	人			1
延べ業務時間		時間			24	
人件費計(B)		千円			94	
	トータルコスト(A)+(B)	千円			18,094	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> 平成23年6月にJA雲南の総代会において「雲南市によるケーブルテレビ事業一斉告知放送の開始に伴い、木次町有線放送事業廃止の検討」が承認。 平成23年3月JA雲南が木次町有線放送を終了。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年3月、木次町音声告知放送整備事業が完了。 平成23年4月、市内一斉告知放送の開始。 	木次町内自治会集会所への有線放送電話の設置。

事務事業名	木次町有線放送設備撤去工事補助金	所属部	政策企画部	所属課	情報政策課
-------	------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性	この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	見直し余地があると理由
	② 公共関与の妥当性	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性	対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地	成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由 平成24年度単年度事業のため、今後の向上余地はない。	
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響無 <input type="checkbox"/> 影響有 理由 平成25年度以降実施せず。	
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由 他に類似した事業はない。	
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 平成25年度以降実施せず。	
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由 平成25年度以降実施せず。	
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由 市議会、JA等とも協議を行ないながら撤去工事の費用負担を検討してきた。負担割合は適正である。	

評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	木次町有線放送施設の撤去が滞ることになった場合、道路等公共施設に残存した電柱が災害の発生等を誘発または拡大したりする可能性があること、又不用物件が市内に放置されて景観が悪化すること等の理由から、速やかに撤去する必要があった。市議会全員協議会等でも協議をした結果、撤去に対する補助率、限度額等についてご承認いただいたところであり、妥当である。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<p>平成25年度以降実施せず。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持		×	低下	×	×
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持		×																
	低下	×	×																